

登録コード	E8253300	開講年度	2026				
授業科目	社会科教育特別演習A					担当教員	篠崎 正典
英文授業名	Special Seminar of the Social Studies A					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				1．学校教育における社会科教育学研究の役割と意義を理解することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				1．社会科教育学研究における課題設定から解決までの過程を把握し遂行することができる。 2．社会科教育学研究の専門的知識に立って、授業実践を分析・考察する力、並びに、教材研究と授業作りの能力を獲得することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	社会科教育学に関する研究論文を購読、報告、議論を行う。同時に、文献調査の方法や論文の執筆方法に関わる先行研究を読むことで、研究方法や研究することの意味について考察する。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：社会科教育研究の領域と研究方法 第 3 回：社会科教育学研究の基本　－研究テーマの探し方－ 第 4 回：社会科教育学研究の基本　－関連文献の探し方－ 第 5 回：社会科教育学研究の基本　－構想の立て方－ 第 6 回：社会科教育学研究の基本　－論文作成のプロセス－ 第 7 回：社会科教育学研究の基本　－研究の深め方－ 第 8 回：社会科教育学研究の基本　－研究成果の活用方法－ 第 9 回：社会科教育学関連論文の検討　－目的研究－ 第10回：社会科教育学関連論文の検討　－カリキュラム、方法研究－ 第11回：社会科教育学関連論文の検討　－授業研究－ 第12回：社会科教育学関連論文の検討　－調査研究－ 第13回：社会科教育学関連論文の検討　－歴史研究－ 第14回：まとめ（授業アンケート） 教育実習等による欠席者への補講は、適宜レポート課題の提出により実施する。						
(6)成績評価の方法	・ 討論等への積極的な参加と貢献度（40％）、報告の内容（60％）によって評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上　秀, 89-80%　優, 79-70%　良, 69-60%　可, 59%以下　不可。						
(7)成績評価の基準	・ 報告（レポート）の評価規準は次の通りである。（ ）テーマの設定が適切である。（ ）テーマについてよく調べている。（ ）発表レポートの形式が適切である。（ ）先行研究や関連項目について言及してある。（ ）有益なディスカッションを生んでいる。 ・ （ i ）から（ ）までの項目を満たし、かつオリジナリティーがあれば「卓越している」。（ i ）から（ ）までの 5 項目が満たされていれば「かなり上にある」、4 項目を満たしていれば「やや上にある」、3 項目を満たしていれば「その水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	・ 授業資料は教師配布のものと、発表者のレポートを使用する。発表者は入念に準備をすること。 ・ この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・ ゼミ形式で展開される授業であるため、報告に際しては十分な準備を行うこと。 ・ 他の学生の報告にも関心を持ち、討論を行う際には積極的に意見を述べること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室、随時、mshino@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	使用しない。						
【参考文献】	・ 日本社会科教育学会編『社会科教育事典（第3版）』ぎょうせい、2024年						